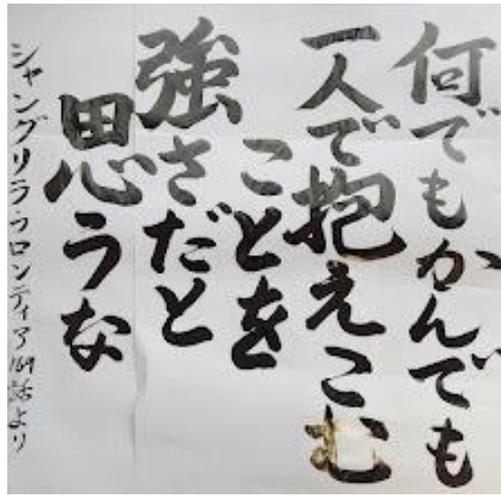


慶念寺々報

つなばかり

慶念寺の掲示板 第三十九回



「何でもかんでも一人で

抱えこむことを強さだと思うな」

これは、『シャングリラ・フロンティア』という漫画で、くじけそうになった登場人物を励ますときに言われた一言です。漫画の中の話なのですが、この言葉が非常に心に残りました。

この言葉は、徳光和夫さんのラジオでお話した私の座右の銘と似ているんです。それは「人に頼れて一人前」一人前になろうとするほど、強くなろうとするほど人は頑なになるものです。すると「人に頼るのは出来ないや

つ」「自分で何でもしなければ」という思いにとらわれます。でも、本当にそれが強さでしょうか。もちろん、自分でできることは自分でやった方がいいとめから人に頼ったほうがいいというわけではありません。大事なのは、無理をしないこと。自分のできるラインをしっかりと把握することが大切なのだと思えます。

本当に強い人というのは「しなやかな人」だと思えます。自分にできることを把握して、限界を迎える前に頼れるところは頼っていく。何でもかんでも一人で抱え込むことは、強さではありません。やるべきことをやった上で、人に頼ることを弱さや恥だと感じることはありません。独りで抱え込んで、限界がきて身動きが取れなくなってしまうのは本末転倒ですし、むしろ頼ることこそが迷惑をかけないことにつながるのだってあります。そしてもう一つ。一人一人出来ることは違います。自分にできることを相手ができないからと言って、相手が劣っているとは限りません。

仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかなる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また **日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。**



せん。逆に、相手ができることを自分ができないからと言って、自分がダメだということもありません。得意なことは、それぞれにある。多い人もいれば少ない人もいます。社会人として「頑張っていけば満点」とは言えません。でも、相手の頑張りや自分の頑張りや認めてあげること、自らを取り巻く環境はずっと生きやすくなるのではないかと思っています。人に頼れる人ほど、人から頼られやすくなる。たがいに補い合い、高め合えていくためには、何でもかんでも一人で抱え込んではいけないと思うのです。

おてらおやつクラブへの「ご協力をお願いします」



おてらおやつクラブとは、お寺に供えてやられる「おそなえ」を仏さまからの「おさがり」として、経済的に困難な状況にあるご家庭に「おすそわけ」する活動団体です。

年末年始は、家庭で過ごす時間が増え経済的な負担が大きくなります。一つでも多くのご家庭に送るために、十二月の寺報の発送作業に向けておそなえをいただければ幸いです。おそなえの例としては

- ・ お米やお餅・乾麺などの主食
- ・ 常温保存のできる食品(溶けないもの)
- ・ 洗剤やハンドクリームなどの日用品

食品は、賞味期限が二週間以上あるものをお願いいたします。お供えに関して疑問質問がありましたら気兼ねなくお尋ねください。また、シャンプーや洗剤、ハンドクリームなどの日用品も喜ばれるそうです。



宗祖報恩講並びに開所記念法要

をお勤めしました



二〇一六年の十一月に慶念寺を開所して以来、十一月の法話会は浄土真宗で最も大切にされている宗祖報恩講と慶念寺の開所を祝う開所記念法要をお勤めしています。新型コロナウイルス感染症拡大の時もオンラインを活用し、休まずに続けておりました。

要でお荘厳がアップグレードされています。

一昨年はご本尊前の机が、仮の物から浄土真宗本願寺派の正式な形に変わり、昨年はご本尊を新たにお迎えいたしました。

そして今年はお隣のお寺さんから五具足を頂戴し、ご本尊周りのお荘厳が完全なものに近くなってきました。お参りの際には仏具にも注目していただきたいと思えます。

ご講師は台東区浄雲寺の荒木尚太郎。お若い先生ですが、穏やかな語り口と重厚なお話に、皆様耳を傾けていらつしやいました。HPを見て、ふらつといらした方もいて、

帰敬式のおすすめ (法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

だんだんと慶念寺の法話会が浸透してきたと嬉しく思っております。まだお参りしたことがない方も、是非お参りください。手ぶらで普段着で大丈夫です！

発送作業のお手伝いをお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年十二月二十五日(水)

十四時からの法話会に引き続き

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子供たち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

次回の法話会は

一月十九日(日) 十四時から 慶念寺本堂

にて「定例法話会」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

※十二月は神奈川組の慶讃法要があるためお休みです。

編集後記



十月末に川崎市戦没者慰霊法要を終えて、川崎市仏教会の庶務理事の大きな役割を一つ終えることができました。五月くらいから動き始め、ようやく法要を終えた時には解放感でいっぱいでした。が、十一月には築地本願寺の報恩講と慶念寺の報恩講も控えていたため、結局ついこの間まではそっちで頭がいっぱい。でも、どちらも沢山のお参りをいただいて、無事に勤修することができました。

さあ、次は神奈川組の親鸞聖人御誕生八五〇・立教開宗八〇〇年の慶讃法要が控えております。私の役目は法要の裏方と、協賛行事お笑い芸人の「メンバー」さんとのトークゾーンのMC。行事全体を左右するよう重要なお役目。ちよつぱり気が重いです。また、お参りの申し込みも受け付けますので、ぜひご都合つきましたらお参りくださいませ！

浄土真宗本願寺派 歡喜山 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com
ホームページ URL
https://kyounenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード